

# 碩 心

社団法人 日本詩吟学院岳風会 認 可  
 神奈川 碩 心 会 発 行

59年1月現在会員数  
 逗子地区 147名  
 葉山地区 294名  
 大船地区 66名  
 (合計) (507名)

59年1月号(138号)  
 発行者 根岸 岳 萃  
 編集 中 村 愛 岳



## 吟道精神

吟道は氣を蕩滌し、氣を料簡し、  
 血脈を動盪し、精神を流通し、其の  
 中和の徳を養ひ、氣質の偏を救ふ也。  
 吟道は氣を養ひ、道なき  
 人、生かざる。氣を養ひ、道なき  
 氣は、心、養はざるべからず。  
 正風を合に治く、一声、士氣あり  
 吟道、終り清風起る、吟、天地の心



## 新年のごあいさつ

会長 根岸 岳萃

輝やく昭和五十九年の新春を、お家族共  
共迎えられましてお目出度うございます。  
傾心会も皆さんのご協力で、発展しつゝ新  
年を迎えることができましたことは、誠に  
慶びに堪えません。実に当会の発展、吟力  
の向上等は目覚ましいものですが、しかし  
尚総本部長理事長の松井岳洋先生が創立され  
名誉会長をしておられる会として、全国吟  
友の注視しているところでありますので、  
我々は常に初心を忘れず、襟を正して、斯  
道に先駆けて吟道の発展に頑張りたいと思  
います。  
本年も亦、低成長経済と、生活はかなら  
ずしも楽ではないと思ひますが、このよう  
な時こそ吟道を通して、地方文化の向上と  
明るい社会をつくるつもりで、楽しく吟道  
に励みたいと思ひますし、これこそ祖宗範  
の「吟道をして永遠の命あらしむ」の實踐  
ではないでしょうか。  
今年も皆さんが健康で吟道に楽しまれ  
ることを祈念いたしまして新年のごあいさ  
つといたします。

## 新年のご挨拶

副会長 加藤 岳相

会員の皆様新年お目出度うございます。  
吟友各位がご健祥にて新春を迎えられまし  
たことを、皆様と共に心からお慶び申しあ  
げます。傾心会も皆様のご努力とご協力に  
より、去年一年は会員数五百名の線を維持  
しており、これは県本部五十八会中三番目  
の位置にあり、ひいては総本部約十萬会員  
隆盛の源となつていのであります。本年  
は更に上の線を目指して頑張ろうではあり  
ませんか。

それには皆様のご健康と、我々吟ずる者  
のモットーであります会員相互の和が第一  
です。私も齢六十半ばとなり、健康である  
ことの有難さを必々と身に感ずる昨今です。  
健康でなければ百の計を立てゝも何も出来  
ません。各自健康に留意なされ、吟技の研  
鑽と自己の修養に努め、和を以て吟道の  
輪を拡め、益々の傾心会発展と皆様のご多  
幸を祈念して新年のご挨拶と致します。

## 新春をお迎えして

副会長 小峰 桜岳

輝かしい昭和五十九年の新春を御家族共  
共お迎えなされまして誠に喜びに堪えま  
せん。

経済の伸長に伴い、大企業の海外進出、  
又全世界に於て、日本の国際放送が聞える  
事も六十二年迄に完成するという、実に明  
るい年であると思ひます。会員の皆様方に  
は毎年の多行事を一つ一つ消化されまして  
御礼申しあげます。本年は特に県本部三十  
周年という大きな行事が予定され、なにか  
と忙しい年になりそうです。

(忙)の字を見ますと(忙)は心、(忙)はほろびる  
ことを示すように、忙しさも度が超えます  
と心が失われてしまいます。そこで心に栄  
養をつけることを忘れてはなりません。日  
常自分に合った趣味、嗜好を求め、或いは  
静かな時をたつぷりな休息によつて忙しさを  
忘れる。

それには先ず以つて、詩吟等一番身近で  
はないでしょうか。正々堂々、一吟するこ  
とによつてすべてを忘却し、健康増進に結  
着する事と信じます。

会員の皆様、中断することなく吟道に邁  
進されまして、益々傾心会を又一まわり大  
きな会にすべく御協力下さいます様望みま  
す。健康にくれぐれも御留意下さいますよ  
う。

# 吟と健康

相談役 三井 雲岳

詩歌吟誦の魅力にとりつかれて夢中で吟じ続けて二十六年：今年満七十七歳になりました。生来の健康のせいもあってか、いろいろの難関を切り抜けてよく頑張ったなあと思います。

数年前から少し体調が狂いだし、風邪を引きやすくなり、又声が出しにくくなり、三十分位吟じないと一応の声調にならなくなり、加えて原因不明の高血圧となり、爾来二年、やっと血圧は平常となりましたが声帯の変調も良い医者が見つかり約二年、治療の甲斐あって、昨秋頃から元の調子になりました。お蔭で久々に心から快的な新春を迎えられて欣んでいます。

健康であって、思い切った吟の勉強が出来、その吟が次の健康を作り出すことを必死痛感します。私は教場でも何処でも、一吟一吟を全力投球で吟ずることにしています。それでないと健康にはつながらないと信じます。微弱吟は車の中、或は歩行中に、詩文の暗記、節調の覚えのためだけにやっています。詩文の暗誦が又全力吟詠の根本です。本を見ていては思い切った朗詠

は出来ません。調子が高くて声が出てくても吟じ通すことが発声の勉強につながります。うまい吟は出来なくても、心のこもった吟を力一杯吟じたいと思います。それが健康につながるが、その健康が又終生吟じつづけられる健康を生じる根本だと思います。健康で死ぬまで吟の道に努めましよう、つくづく思わせる今年であります。

あけまして  
おめでとう  
ございます



(指導者一同より)

- |      |      |      |
|------|------|------|
| 松井岳洋 | 根岸岳萃 | 加藤岳相 |
| 三井雲岳 | 沼田洸岳 | 下條亮岳 |
| 井沢潮岳 | 小峯桜岳 | 加藤圭岳 |
| 中村幸岳 | 竹石憲岳 | 千葉劔岳 |
| 千葉香岳 | 中村愛岳 | 鈴木萃岳 |
| 森田暁岳 | 鈴木孝岳 | 守谷崇岳 |
| 松野春風 | 杉山雪風 | 秋元梁風 |
| 佐藤湧風 | 石渡桂風 | 矢島悦風 |
| 黒崎李風 | 広瀬翔風 | 村田滯風 |
| 伊藤峰風 | 白井寿風 | 白井麗風 |
| 上村象風 | 渡辺誠風 | 石津祥風 |
| 一柳道風 | 木村松風 | 寺脇歌風 |
| 立沢御風 | 小形雄風 | 行谷佳風 |

## 59年度 主な事業計画

(総本部関係)

2. 26(日)師範吟道研修講座………東京
3. 11(日)第85回全国吟道大会………東京
7. 1(日)選拔者吟道大会………東京
8. 4.5 夏期講座………東京府東
10. 14(日)全国吟道大会………長野

(神奈川県本部関係)

1. 8(日)皆伝以上審査課題講座………平塚中央公民館
1. 16(月)七・八段審査課題講座………平塚農業会館
1. 22(日)初吟会………三崎・観潮荘
1. 29(日)準師範吟道研修講座………平塚中央公民館
2. 19(日)七八段審査(横一京浜)………平塚農業会館
2. 26(日)七八段審査(横一湘南)………平塚農業会館
3. 4(日)皆伝以上審査………平塚農業会館
4. 15(日)選拔者予選会………平塚農業会館
5. 13(日)総会………横二地区担当
9. 23 (日)の何れか
9. 30(日) 県本部30周年記念大会………未定
10. 7 10. 13. 10. 15 全国大会参加吟行会………長野
10. 28(日)指導者吟道講習会………未定
11. 24(日)納吟会………湘南地区担当
2. 11(日)富士見吟道会10周年大会………平塚
5. 20(日)湘南吟詠会25周年大会………平塚

## 58 年年末ニュース

大船支部

### 教場焼失

長年親しみ楽しんできた大船支部A・Bの教場が去る十二月四日夜焼失してしまいました。(原因は詩吟部に関係ありません)家の近くですが誰も知らないで翌日外出先から帰って聞かされびびくりしました。思えば長い間お世話になった公会堂で、まだあの頃は傾心会の支部もそう多くなく、初吟会等も全支部集まって楽しくいたしました。又下條、鈴木(萃)、森田の三先生方も皆共にここで一緒に勉強に打ち込んだ懐かしい教場でした。駅にも近く、大きな声を出しても川をはさんでいるので近所の迷惑にもならず、気兼ねのない教場でした。それだけにこれからどうしたらよいものかと途方にくれております。 岩崎恵岳記

堀内支部納会

### 庄巻根岸会長のあてぶり

十二月十一日(日)堀内支部納会は、例年の如く大変楽しく行われました。支部会員最多数の当支部は納会出席者も60余名、これ

また自慢できると思っています。役員の方達の手作りによる御馳走は美味しく、各班毎のアイディアをこらした余興に、会は大いに盛りあがりしました。なかでも庄巻は、根岸会長演ずるところのカラオケあてぶりの踊りでした。日頃のお固い会長には想像も出ず、雰囲気にとけこんだ姿には誰もが嬉しく思えました。ひとときを何事も忘れ、楽しみに没頭できるといふ事は、幸せだなあと沁々思いました。

横警支部老人ホーム慰問

### 詩吟・詩舞など披露

お年寄達に一足早いクリスマスを楽しんでもらおうと、横警支部の一行(代表小形雄風)と、友情出演の詩舞京愛会(会長中村京愛)のメンバーが十二月二十日、衣笠の共楽荘老人ホームを慰問、自慢の詩吟、詩舞、歌謡などを披露し、集まったお年寄達に喜んでいただきました。この事は毎日新聞、神奈川新聞の翌朝版で報道されました事を附記いたします。

逗子地区温習会

### 暮にもめげず盛会

暮も押し迫った十二月二十五日(日)逗子図書館ホールに於て、盛会に行われました。

暮のこととて出足を心配していましたが、お天気にも恵まれて出席率もよく賑やかでした。秋季審査に合格された方達に松井理事長から直々に許証が手渡され、今年最後の温習会は無事終了しました。

堀内支部初吟

### 心新たに

明けて一月一日、防寒具に身を固めて家を出たが、風一つなく、空には無数の星が輝いていた。あまり寒くないせい、世相の移り変わりか、ここ森戸明神にも初詣の人がいつになく長い長い行列をなしていた。0時三十分、一同は今年も元気に楽しく頭張ろうと心に誓いながら、神前にて声高らかに朗詠、清々しい気分が帰路に着いた。 何となく今年はいい事ある如し

(入会)

606 鈴木 要 葉山町上山口一四七〇

(唐木山) (電)〇四六八一七八一六七六〇

607 大川 良 逗子市沼間三一五一四

(沼間) (電)〇四六八一七一八八九四七

(退会)

199 堀田釣山(銀詠)